



もっと考える もっと良くする もっと面白くする



(持続可能性への取り組みページ)

contents

- 02 トップメッセージ
- 03 持続可能性への取り組み
- 05 社会への貢献①
- 07 社会への貢献②
- 09 地球環境のために①
- 11 地球環境のために②
- 13 つくる責任 つかう責任のために
- 14 社員活躍



スジャータめいらくグループは環境に配慮した製品づくりに努めています。
スジャータめいらく ECO マークは環境対策包材を使用している商品パッケージ等に表示しています。
ロゴマーク中の ECO の「O」部分にはスジャータめいらくグループの象徴であるポーションの形を取り入れました。

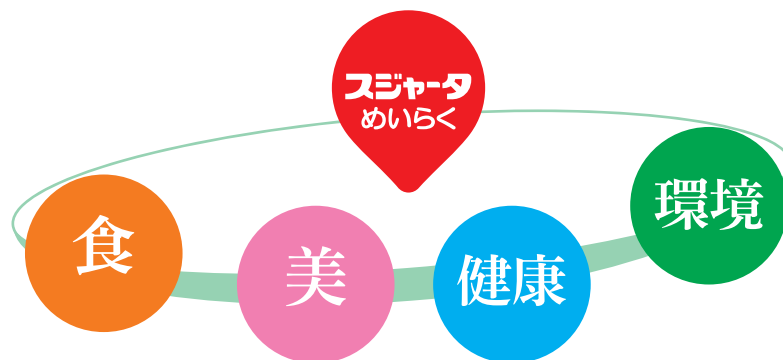
トップメッセージ

スジャータめいらくグループは「食と美と健康＋環境」をコンセプトに食品製造と販売を通じて、社会的な役割を担っていることを自覚し、お客様の喜びと幸せを願って行動していきます。

また、現在の取り組み一つ一つを深く掘り下げ、もっと良く、もっと面白くなるまでつきつめていきます。



スジャータめいらくグループ
代表 日比治雄



新たな取り組み内容

- ・ 職場環境改善として
「職場のトイレの環境改善」に
取り組む「トイレに仕掛けプロジェクト」
- ・ 各事業所でのザクロ植栽



約 30 数年続く町内清掃

SDG s 推進委員会

スジャータめいらくグループでは SDG s 推進委員会を立ち上げ、よりよい社会、環境、そして社員ひとりひとりのためにできることを推し進めています。

SDG s への取り組みはすべての社員が関心を持ち、理解を深めることが重要と捉えています。

2027 年度達成目標を設定、全社員と共有し、一つ一つ丁寧に、確実に進めています。

各項目は 2027 年度を中間目標として、取り組んでまいります。



持続可能性への取り組み



コーヒーフレッシュの代名詞「スジャータ」から取り組む

スジャータめいらくグループの代表的な商品であるコーヒーフレッシュ「褐色の恋人スジャータ」は、コーヒーのまろやかさを引き出すため、パーム油を一部に使用しています。私たちはパーム油の生産で熱帯林の違法伐採や、働く人々の人権侵害が問題となっていることを知り、持続可能な生産や今後も安定して使用が出来るように、RSPO（持続可能なパーム油生産のための円卓会議）組織に加盟しました。RSPO の活動を支持することで、持続可能なパーム油生産が続くことを願っています。

持続可能な原料として RSPO（認証パーム油）の使用

帳簿ベース主張型（Book & Claim）であるクレジットを購入することで認証生産者を直接支援、持続可能なパーム油生産を支持しています。パーム油は単位当たりの収量が多く、今後も引き続き多くの人々の油脂食料資源として使う必要があります。



「褐色の恋人
スジャータ P」



「褐色の恋人
スジャータ R」



「(業務用)
ECO SUJAHTA」



4-1110-18-100-00

2027 年度達成目標
全体の使用量 37.00%

年	実績	達成率
2023 年度	11.70%	31.62%
2024 年度	12.00%	32.43%
2025 年度	12.90%	34.86%

食品リサイクル 100%達成

【スジャータ・乳製品製造ライン】



【アイスクリーム製造ライン】



【レトルト製造ライン】



【有機豆乳製造ライン】



【コーンポタージュ製造ライン】



【きくのIFCコーヒー製造ライン】



副産物の再生利用と有効活用

おからを飼料として飼育された乳牛のふん尿から作られた堆肥を用いてざくろ果樹を栽培しています。





社会への貢献①



心も体も健やかに、自分らしく美しく生きる

日本は世界に先駆けて「超高齢化社会」に突入しています。平均寿命が延びる一方で、自立して生活できる健康寿命との差は約 10 年のまま縮まらず、将来に向けての懸念となっています。また「ストレス社会」に不安を持つ人も少なくありません。

百寿会はこのような現状を踏まえ、

『心も体も健やかに、自分らしく生きる』をテーマに、

誰もが安心して夢を持って 100 歳を目指すことができるように取り組んでいます。



百寿会会員数 まもなく 1 万人に

お取引先様からは健康に寄与する活動に対して、「健康まで気遣ってくれるのはスジャータめいらくさんだけ」などの声を戴いています。

また会員様からはにんにくサプリメント「めいらくアホエン NS-38」の配布や健康情報の発信に対し、たくさん感謝のお言葉を頂戴しています。

2027 年度 百寿会 目標会員数 12,000 人

年	実績	達成率
2023 年度	9,173 人	76.44%
2024 年度	9,844 人	82.03%
2025 年度	10,856 人	90.47%

百寿会とは

スジャータめいらくグループの創業者 日比孝吉が 1998 年「生涯現役・健康長寿」を願い、「健康のまま 100 歳を目指す」という合言葉のもと発足しました。そして現在もその思いを引き継ぎ、新たに「食と美と健康 + 環境」というテー

マを掲げ、様々な社会活動に取り組んでいます。「健康なくして幸福なし」という日比孝吉の思いを実現すべく、一人でも多くの皆さまが健康で自分らしく過ごすことができますよう今後も活動を続けて参ります。

皆さまの健康と長寿を願う百寿会の啓蒙活動

（百寿会は1998年7月発足セミナーが開催されて以来定期的に「百寿会の集い」が行われています。）

① にんにくサプリメント「めいらくアホエン NS-38」のお届け

毎日お飲みいただけるよう2ヶ月に一度、1名様ごとに1袋(2ヶ月分)を年6回お送りしています。

(2025年「百寿会の集い」)

② 健康に関する講演会「百寿会の集い」を開催

2025年5月17日(土)

名古屋市 栄駅 中日ホール

2025年11月1日(土)

東京都千代田区 大手町フィナンシャルシティサウスタワー

2026年5月30日(土)

名古屋駅前 ミッドランドホール



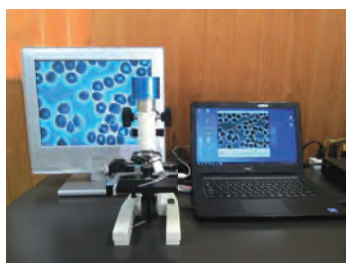
③ 健康情報紙「Well-being 通信」を3ヶ月に1度お届け

④ ヘルスサービス (Sコース会員様限定)

名古屋の研究所にて健康機器のご利用、各種健康度測定の実施と結果の説明、健康に関する情報の提供などを行っています。



「放射線ホルミシスルーム」



「血液画像分析器」



「GDV 測定器」

⑤ 環境への配慮

健康情報紙「Well-being 通信」の発行には、バイオマスインキを使用するなど、環境に配慮した取り組みを進めています。



社会への貢献②



にんにくサプリメント「めいらくアホエン NS-38」の配布

スジャータめいらくグループでは長年、にんにくの無臭化の研究を重ね、その過程で生にんにくには含まれていない「アホエン」が生成されることを発見いたしました。さらに研究を進め、高濃度のアホエンを生成する手法を開発しました。

この製造方法は「にんにくの加工処理及びアホエン含有油脂の製造法」として日本をはじめ、アメリカ、EU、中国で特許を取得しています。このアホエン含有油脂をカプセルにしたものがにんにくサプリメント「めいらくアホエン NS-38」です。

アホエン製法特許の実物写真



日本



アメリカ



ヨーロッパ
(イギリス・ドイツ・フランス)

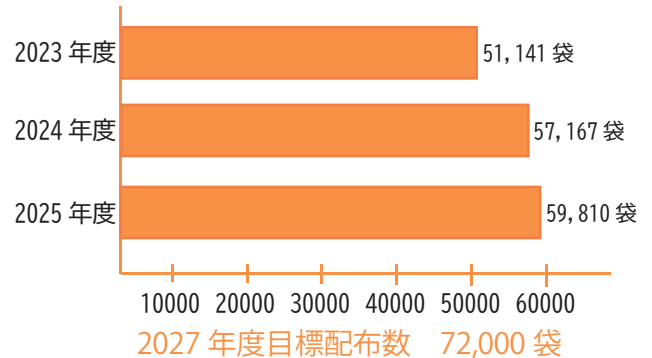


中国



香港

アホエン配布数（百寿会 年間配布数）



めいらくアホエン NS-38 の歴史

- 1987 年 2 月 無臭にんにくの研究を開始
- 1990 年 2 月 50 歳以上の社員に配布開始
- 10 月 一般の希望者に配布を開始
- 1994 年 4 月 アホエンの研究開始
- 2003 年 10 月 小型タイプへ全面切り替え
- 2005 年 11 月 より多くの方のためにと対象年齢 40 歳に引き下げ、月間愛飲者数 28 万人
- 2006 年 2 月 「蓬萊（ホウライ）」から「めいらくアホエン」へ名称変更
- 2017 年 5 月 「めいらくアホエン NS-38」へ名称変更
- 2025 年 3 月 多くの愛飲者から喜びの声をいただいております
- 2026 年 3 月 配布開始から 36 年を迎えました



安心・安全な工場

2006年1月18日に中国山東省日照市にスジャータめいらくグループの100%子会社「日照名酪食品有限公司」を設立しました。工場では安全な食品を製造するため、国際基準ISO22000を取得し、ニンニクエキス（めいらくアホエンNS-38の内容物）を製造しています。



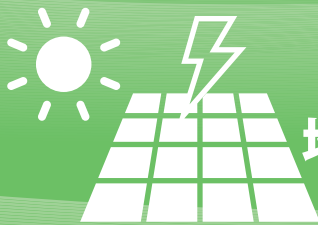
にんにくの無農薬栽培

原料となるニンニクは、めいらく専用の契約農家で栽培したものだけを使用しています。農薬を一切使わずに栽培、その上、残留農薬、重金属の検査を中国と日本で二重に実施し、安全を確認してから使用しています。



日本学生支援機構が発行するソーシャルボンドへの投資

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクトの資金調達のために発行される債権です。スジャータめいらくグループは本債券をはじめとしたグリーンボンド・ソーシャルボンドへの投資を継続的に実施することで、社会的責任を果たしてまいります。



地球環境のために①



地球温暖化対策として CO₂ 排出量削減は優先すべきテーマ

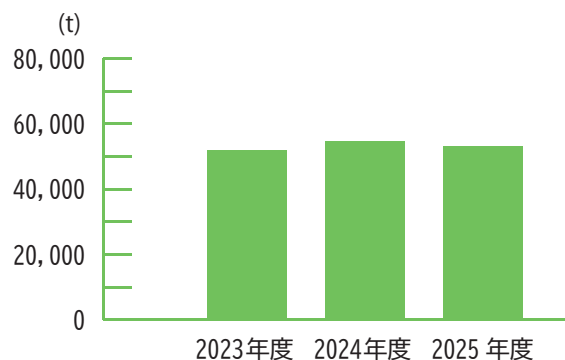
千葉工場では 2014 年に太陽光発電設備を再生可能なエネルギーの供給のため設置しました。また、2024 年には大府工場にも自家消費型太陽光発電設備を設置、CO₂削減に取り組んでいます。また、日常の省エネの取り組みとして、各工場共に年間で取り組むテーマを設定、一年を通して省エネ活動の促進につとめております。電力量がひっ迫する夏期と冬期の各 3 ヶ月間は特に節電対策を強化しています。



スジャータめいらくグループ大府工場（愛知県大府市）
CO₂削減 自家消費型 太陽光発電設備



スジャータめいらくグループは本社のある愛知県で SDGs の達成に向けて取り組む企業として登録・認定されています。



スジャータめいらくグループ
工場全体 CO₂排出量の削減実績

フロンを使わないノンフロン冷凍機の設備

工場内における冷凍機は自然冷媒であるアンモニアを使用した冷媒やアンモニアと二酸化炭素を利用した冷凍機に移行しています。今後さらに「ノンフロン化」を推進していきます。



LNG（液化天然ガス）の活用、CO₂削減

本社工場・大府工場・千葉工場において、生産設備での重油使用をやめ、LNG（液化天然ガス）に切り替えています。これによる年間のCO₂削減量は約12,300tです。



食品ロス削減につながる製品の開発

製品の安全性と鮮度保持の追求のため、無菌充填による製品開発を進めています（1975年～）。工場の設備や製造工程の違いから、一般的なチルド殺菌の製品よりも賞味期限を長く設定することができ、食品ロスの削減につながっています。





地球環境のために②



バイオマスプラスチックの配合

環境対策の中でも化石燃料を主とするプラスチック使用量の削減は大きなテーマの一つとして捉え、コーヒーフレッシュ、カップ飲料にバイオマスプラスチックを配合、運用を広げております。



バイオマスプラスチック配合の
ポーション容器、カップ容器や
ストローとキャップ

スジャータエコパッケージ

環境に配慮した商品パッケージには当社独自の
スジャータエコパッケージマークをつけています。



スジャータ P は業界初の
紙仕様包装に切り替え



バイオマスインキの使用

インクをバイオマス化することで環境に配慮していきます。

全工場での年間 1,000 品以上のアイテムを生産しています。対応可能な品より順次変更、今後もバイオマスインキの使用割合を増やしていきます。



バイオマスインキの使用

年	実績	達成率
2023 年度	6.70%	33.33%
2024 年度	7.00%	34.31%
2025 年度	10.80%	52.94%

2027 年度 達成目標 全体の使用量 20.40%

バイオマスプラスチックの使用

年	実績	達成率
2023 年度	14.30%	143.80%
2024 年度	19.00%	150.91%
2025 年度	19.90%	200.20%

2027 年度 達成目標 全体の使用量 9.94%

認証紙（FSC・PEFC）の使用

商品パッケージに使われる紙製品の多くは FSC・PEFC 認証紙を使用しています。



FSC (Forest Stewardship Council) 認証

PEFC (Programme for the Endorsement of Forest Certification) 認証

どちらも森林認証制度で、森林の持続可能な管理を証明するもの

森林認証紙（FSC・PEFC）の使用率アップ

年	実績	達成率
2023 年度	73.2%	90.37%
2024 年度	75.7%	93.46%
2025 年度	68.00%	83.95%

2027 年度 達成目標 全体の使用量 81.10%





つくる責任 つかう責任のために

12 つくる責任
つかう責任



多岐にわたる原料検査

国内外から調達した原料に対し、残留農薬、カビ毒、特定原材料など多岐にわたる検査を実施しています。特に近年、社会的な関心が高い「有機ふっ素化合物（PFAS）」に対しても注意を払っており、製品に使用する「水」の自主検査を行っています。さらに、社内の検査に加え、社外からの食品や原料の分析も受託しています。私たちは原料検査を通じて、消費者の皆さまの健康を守る責任を果たしてまいります。



残留農薬等の検査に使用する装置 2 台

依頼主様からは、「分析技術者が直接要望を聞いてくれるので、安心感がある」との声をいただいています。また、当社は国内でも数少ない「ニンニク成分」の分析受託機関であり、ご好評いただいております。

さらに、第三者機関主催の分析技能試験に積極的に参加し、自社分析精度の確認、分析技能の維持・向上に努めています。





社員活躍

17 パートナシップで
目標を達成しよう



女性の活躍

これまで一般職が主となっていた女性活躍の場を広げていくため、積極的に総合職の女性採用を増やしました。

外食産業への営業現場では、来店ターゲットに近い目線のメニュー提案が好評です。また、量販店・C V Sでも同様に生活者の好みに合わせた売り場提案、商品提案が良い結果となっています。



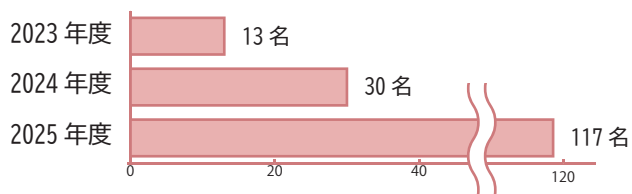
商談の様子



会社説明会

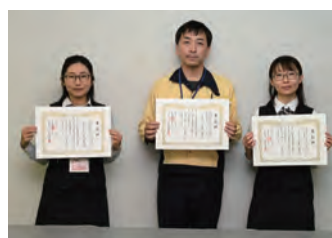
総合職の女性人数

2027 年度目標人数 50 人



提案改善制度

業務に関することはもちろん、労働環境の改善に向けた提案改善案も社内で募集し、優秀案にはインセンティブが贈られます。



無事故継続 10 年表彰

無事故継続 10 年の営業所や走行距離、保有台数に応じて目標期間を達成した営業所を表彰しています。





スジャータめいらくグループ
Sujahta Meiraku Group

スジャータめいらくグループはこれからも安心・安全で
地球にもやさしい商品をお客様へお届けします。

詳細は、当社営業担当者お問合せください。<https://www.sujahta.co.jp/>

